



山陰海岸ジオパーク

令和5年度 山陰海岸ジオパーク

サイエンス SCIENCE CAFE カフェ

山陰海岸ジオパークの自然や人々の暮らしについて楽しく学ぶことを目的に、専門の研究者がわかりやすく説明を行うサイエンスカフェを開催します。

第3回テーマ

人間が嫌う

ヤマトシロアリは日本の森林の生態系にとって大切な昆虫?!

その習性の一端を、
みんなで **仮説** → **実験形式**
で探ってみよう!

令和5年

10/29 日 14:00 ~ 16:00

場所 公立鳥取環境大学 講義棟1F 100講義室

鳥取県鳥取市若葉台北一丁目1番1号
※開催日に駐車場への案内掲示があります。

対象 中学生以上 **定員** 20名程度

先着順・要申込み 参加費無料

生物を深く学ぼう!

ヤマトシロアリは、時には家屋に侵入し被害を与えることもありますが(被害はイエシロアリが大)、日本の森にたくさん棲んでおり、持続可能な社会を支える自然生態系の中でも特に重要な働きをする昆虫です。今回は、ヤマトシロアリを野外で採集し、様々な習性の中から、油性ボールペンで描いた線への追従行動や、消化管の中に棲むたくさんの原生動物の実態の謎を巡って、観察や実験をしたいと思います。



小林 朋道

〈講師〉公立鳥取環境大学 環境学部 教授

第4回テーマ

出雲国風土記 にみる自然観

— 島根半島を知って
ジオパークを学ぼう! —

古代の人々は自然景観をどのように見て感じていたのだろうか。

令和5年

11/11 土 13:30 ~ 15:30

場所 公立鳥取環境大学 学生センター2F 多目的ホール

鳥取県鳥取市若葉台北一丁目1番1号
※開催日に駐車場への案内掲示があります。

対象 中学生以上 **定員** 20名程度

先着順・要申込み 参加費無料

見方が変わるよ!

山陰地方には、多くの特徴的な景観があります。砂丘、大山、弓ヶ浜半島、島根半島、宍道湖・中海など。どうして、このような景観ができたのでしょうか。科学がなかった時代の人々は、島根半島やその一帯の自然をどのように見て語っていたのか、古代の地誌である出雲国風土記を基に、神話伝説の生まれた大地について考えてみましょう。



野村 律夫氏

〈講師〉島根半島・宍道湖中海ジオパーク 専門員 (島根大学名誉教授)

お申込み方法

サイエンスカフェへの参加をご希望の方



各開催日**2日前**までに、左記QRコードを読み取りお申込みください。

※ 個人情報は、関係法令及び本学規定により管理・保管いたします。また、本教室等の連絡及び本学開催の講座・講演等の催しに関する案内連絡以外の目的で使用いたしません。

サイエンスカフェとは?

サイエンスカフェは市民と科学者がコーヒーなどを飲みながら同一目線で議論できる場で、イギリス発祥の取り組みです。

(共催)



公立鳥取環境大学

Tottori University of Environmental Studies

鳥取県立山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館

(後援) 山陰海岸ジオパーク推進協議会

お問合せ
お申込み

公立鳥取環境大学 地域イノベーション研究センター (TEL) 0857-32-9100 (E-Mail) event@kankyo-u.ac.jp

詳しくはHPへ! (URL) <http://www.kankyo-u.ac.jp/about/alliance/seminar/>